

幕張新都心モビリティコンソーシアム 自律移動モビリティ PT
(第 2 回) 議事要旨

時間： 2022 年 9 月 28 日(水) 13:00～15:00
場所： オンライン開催
出席： 京セラコミュニケーションシステム株式会社
京成バス株式会社
株式会社 NTT ドコモ千葉支店
ダイナミックマップ基盤株式会社
日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社
株式会社アイシン
千葉大学
株式会社建設技術研究所
シャープ株式会社
株式会社千葉ステーションビル
損害保険ジャパン株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
千葉市
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上 (順不同)

議題

- (1) 第 1 回自律移動モビリティ PT の振り返り
- (2) 自動運転バスの実装にむけた検討
 - ア. 話題提供：自動運転導入手法調査について
 - イ. 自動運転車サービス導入に向けた課題
 - ウ. 自動運転バスサービスの実装を想定した検討項目の話し合い(グループワーク)
- (3) サービスロボットの社会実装にむけた検討
 - ア. 話題提供：自動配送ロボットを活用した移動販売サービス実証
 - イ. サービスロボットの社会実装にむけた検討 (グループワーク)

配布資料

- 資料 1 第 2 回自律移動モビリティ PT
資料 2 自動配送ロボットを活用した移動販売サービス実証 (非公表)

議事内容

1. 開会

2. 議題

(1) 第1回自律移動モビリティ PT の振り返り

- 千葉市より資料1に沿って説明。
 - 第1回 PT のグループワークでは、自動運転バス実装に向けた、周辺環境づくり・自動運転技術・社会受容性・インフラ整備に関する検討を実施。
 - 周辺環境づくりに関して、環境整備や法整備、市民等の受容性向上が必要という意見が挙げられた。
 - 自動運転技術に関して、安全性や取り組みの優先度付け、新技術の導入、インフラ協調が必要だという意見が挙げられた。
 - 社会受容性に関して、情報発信や触れる機会の増加、車内での安心感が必要だという意見が挙げられた。
 - インフラ整備に関して、管理・運営主体の検討や新技術の活用、データ連携が必要という意見が挙げられた。
 - 海側ルートや各エリアでのサービスロボットを活用したサービス案について
 - いずれのエリアにおいても、移動販売や運搬、警備に関する複数のアイデアが挙げられた。

(2) 自動運転バスの実装にむけた検討

ア. 話題提供：自動運転導入手法調査について

- デロイト トーマツ コンサルティング合同会社より資料1に沿って説明。
 - 定量評価
 - 山側ルートと海側ルートでは、年間の行政補填金額の低い海側がよいという試算結果となった。また海側ルートの中でも、コスト面と安全性を踏まえた場合は、2D 地図に磁気マーカー、さらに専用道を導入する案が良いと推察される。
 - ルート別の定性評価
 - 事業性・公共性・実現性・受容性の4つに加え、時間軸(短期的・中長期的)も評価項目とした。
 - 短期的にはほとんど差異がないものの、中長期的に見込まれる効果を鑑みると、海側ルートでの導入がより目指す姿の実現に近いと考えられる。今後は各種実証等を通して詳細の深堀検討が必要である。

イ. 自動運転車サービス導入に向けた課題

- 千葉市より資料1に沿って説明。

- 主に実現性(技術面)と事業性(費用面)の2つが挙げられる。
 - 実現性に関しては、各種マップ、インフラ、専用レーン等の中でどの技術を柱にするかにより走行技術の方向性が大きく変化すると考えられる。
 - 事業性に関しては、自動運転車サービス単体での黒字化は現状困難なので、今後サービス実施事業者を募るうえでも、赤字額の縮小が必須であると考えられる。

ウ. 自動運転バスサービスの実装を想定した検討項目の話し合い(グループワーク)
テーマ:自動運転バスのサービス運営において、赤字補填の観点でどのように官民連携や会員企業同士の連携が可能か

- ワークシートを活用したグループワークを実施。

(3) サービスロボットの社会実装にむけた検討

ア. 話題提供:今年度実証実験結果について

- 京セラコミュニケーションシステム株式会社より資料2に沿って説明。

イ. サービスロボットの社会実装にむけた検討 (グループワーク)

テーマ:新たなサービスロボット活用の実装を見据えた際の課題と解決策について

- ワークシートを活用したグループワークを実施。

3. 連絡事項

- 事務局より下記事項について説明
 - 自動運転実証公募を実施する。
 - 第2回WG総会(中間とりまとめ会)が10月25日(火)10時~12時に開催されるため、ご参加いただきたい。
 - 会員同士のコミュニケーションの場としてSlackを活用いただきたい。

4. 閉会

以上